

	投稿日	意見
1	令和 3年 5月 2日	じゅんさい池みらいプロジェクト、とても良いですね。実家が東区なのでとても身近に感じています。 ガイドブックを見ながら家族で散策したいです。
2	令和 3年 5月 2日	毎朝、愛犬と西池を、散歩しています、犬も喜んで歩きます。桜の季節には1日何回も行きます。東池のかがり火・蛍・その他の動植物を見るのも楽しみです。早く新型コロナウイルスが終息して、大勢の人が来ることを願っています。
3	令和 3年 5月 2日	ホテルの環境整備され、憩いの場所になるのでは。毎日朝方から夕方迄撮影される方多数有り。撮影されて居るのですか。 撮影以外訪れる車両駐車不可能の状態有り 殆ど満車車両は、撮影される方の車両との事 夜間から朝方迄毎日休日問わず自宅の車庫同様に又休日は全く動かない車両有り。訪れる車両駐車される事不可能で有る。
4	令和 3年 5月 2日	市報はくまなく目を通してはいるはずが、「じゅんさい池みらいプロジェクト」を初めて知りました。（おそらく、前年度にもプロジェクトを知らせる記事が市報に載せていたのかもしれませんが見落としていました・・・） 「みらいプロジェクトってどんなこと？」と検索をしたものの色々なページに迷い込み、市報に載っている以上の内容を調べようとしたものの、よくわかりませんでした。そのため、市報に載っていた「憩いと学びの場」を目指すことについて意見を申し上げます。 東区に住んでいるものの、じゅんさい池という場所があるものの、行ったことはありません。これまで何度か行こうとしたものの、桜や蛍の時期を逃してしまい、「また来年だな」といった感じです。おそらく、当方のような「行きそびれた人」は多いと思います。まず、じゅんさい池を訪れたもらうことが第一ステップだと思いますので、旬の時期が来る前の市報に「じゅんさい池お出かけ情報」といったコーナーを設けて、「これから蛍の季節です」といったように周知することがいいのではないかと思います。 また、せっかくガイドブックを作ってそのPDFをHPで公開しているのなら、今号の市報にQRコードを載せた方が良かったのではないかと思います。 長文乱文失礼しました。 今年こそ、子どもを連れて蛍を見に行きたいと思います！
5	令和 3年 5月 4日	じゅんさい池は自宅近くなので、子どもの頃、よく遊びました。アメンボとったり。 最近では暗くて怖い感じがしていたので行っていなかったのですが、このプロジェクトを知り、興味が湧きました。今日はお天気もいいのでさっそく行ってみます！
6	令和 3年 5月 6日	Facebookの仲間から枝垂れ桜が素敵と聞きました、ほんとに素晴らしい。春の見どころですね。蛍も絶やさない様に管理お願いします
7	令和 3年 6月 20日	あまり考えたことなかったけれど、きれいな沢がある訳ではないので、人工飼育と言われるとそうだろうなという感じです。エサやりの写真はリアルですね。続けるのが難しいってことは高齢の方がしてくれてたんでしょね。自然のホテルを守るんじゃないなら無理して続けなくても。人を呼ぶにはいいんだろうけど。
8	令和 3年 6月 20日	興味深く拝見しています。スイレンは厄介なものですね。昨年の刈り取りは効果がなかったのであれば、今年はやり方を変えるのでしょうか。同じ結果にならないことを望みます。
9	令和 3年 6月 21日	行政の事業で課題を見せるような書き方のものはあまりないので、挑戦的な内容だと思います。行政だけでなく、民間団体や地域団体が考えてくれるようにしていかないと続かないのではないかと思います
10	令和 3年 6月 24日	じゅんさい池は散歩している高齢者は多いけれど、子供が遊べるようなところではないし、むしろ危ないと言われていると思います。土建業の人たちの車がいつも長時間停まっていて怖いし子供だけで行かせたりはできません。
11	令和 3年 6月 24日	ホテルを見に行ってきました。ネットで検索していたら人工飼育というプロジェクトの記事が出ていて、ちょっとだまされた感もあったのですが、思い込んでいただけかもしれません。でも楽しみにしている人も多いので頑張って続けてほしいです。
12	令和 3年 7月 2日	区だよりの「じゅんさい池みらいプロジェクト」の記事を拝見しました。タイミング的に遅くなりましたが、感想をお伝えします。 ホテルを別の場所で飼育していたことについては衝撃でした。完全に天然だとは思っていませんでしたが、餌をやれば、この環境でもホテルは生育できるのだなと思っていたので、腑に落ちたような気もしますが、放流する発想は完全になかったので、やはり衝撃でした。 継続については、自然にいるホテルではないため、地域の考えに可能な限り寄り添う程度が良いと思います。 園芸睡蓮については、綺麗な花が咲くので、それを楽しみにしてる人がいて、憩いの場として維持して行くには、これ以上広がらないよう毎年刈り取りで対処する今の方法でもいいと思います。ただ、重点対策外来種を重く受け止めて進めて行くのであれば、地下部に栄養を貯められる睡蓮にとって、地上部の刈り取りはなんの意味も無いのではないかと思います。一度にすべて行うのはお金的にも難しいと思いますので、面積的には一部ずつでも、いもり池のように防草シートを張る等、睡蓮を枯れさせる対策が必要だと思います。 いずれの方向性にも理想を求めるには環境保全も絡み、大きなお金がかかりそうなことなので、一市民としてはなんとも言えない大きな問題だなと思い記事を拝見させていただきました。今後の活動を楽しみにしています。